

令和3年11月26日
愛媛大学2021年度 実践型インターンシッププログラム
「愛媛 Food Camp」 成果報告会を開催

愛媛大学農学部生命機能学科及び大学院農学研究科生命機能学専攻では、学部・大学院修士課程の学生を対象として、新たなインターンシッププログラム「愛媛 Food Camp」を株式会社リクルートと共同開発し、実施しました。

愛媛県内の食品関連企業18社のご協力のもと、学部1年生から修士1年生までの62人が、新規製品開発を目指して実践型インターンシップに取り組みました。本年5月から始まった今年度の愛媛 Food Campにおいて学生は自己分析や派遣先の企業研究を行ったのち、6月から企業との製品開発に着手しました。

今年度の愛媛 Food Campが終了したので、参加学生による取組内容と、開発製品や試作品等の成果物を発表する機会として成果報告会を企画し、12月4日（土）に実施します。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

- 日 時 令和3年12月4日（土） 13:00～15:30
- 場 所 愛媛大学農学部 大講義室
（松山市樽味3丁目5-7 愛媛大学樽味キャンパス）
- 対 象 参加学生、参加企業
（高校生およびその保護者は、遠隔参加）
- 定 員 100人
- 参加費 無料
- 駐車場 有り



※取材いただける場合は、下記 QR コードからお申し込みください。



本件に関する問い合わせ先

愛媛大学大学院農学研究科生命機能学専攻
菅原 卓也
TEL : 089-946-9863
E-mail : mars95@agr.ehime-u.ac.jp

※送付資料6枚（本紙を含む）

After
おいしい自分へ

Before
あおい自分から

愛媛 Food Camp

愛媛大学の農学部生命機能学科と愛媛県内の食品関連企業とが連携し、
「学ぶ」と「働く」をつなぎ地域の活性化を目指す実践型学習の場
大学、学生の持ち味と企業の持ち味を活かし合う製品開発を目指した実践型インターンシッププログラム

【愛媛大学 農学部 生命機能学科について】

バイオテクノロジーを基本とする生命科学は、
生命現象の解析を通して、健やかな生活や健康長寿社会の達成など、
生命に関する様々な領域への貢献が期待されている学問分野です。
生命機能学科では、有機化合物、タンパク質、核酸、酵素などの分子から、微生物、動・植物細胞、
さらには個体に至る様々なレベルにおける生命現象を、
化学的手法で解明する基礎領域から、バイオテクノロジーを駆使した革新的技術の創出、
機能性食品や医薬品の開発などの応用領域へと展開することを目的とした教育研究を行います。
講義科目や実験科目で習得した、生命科学に関する広範囲に及ぶ専門的な知識や技術を活かし、
食品関連企業との製品開発を目指した実践的なインターンシッププログラムが「愛媛 Food Camp」です。
このプログラムを通して、大学での授業や実験・実習だけでは学ぶことができない、
より実践的で汎用的な能力を身に付けることができるとともに、
社会人として守るべきルールやマナーなども学ぶことができます。

ファイナルプレゼンテーション(成果報告会)
2021年12月4日(土)開催

※詳細は裏面をご覧ください

実践学習型の10Days インターンシップ

DAY
1

自己分析と目標設定

自己分析を通じて自らの持ち味を見つめ直すことからスタート。自己内省とアセスメントツールを活用することで、客観視しながら自身の強み・弱みを把握し、愛媛 Food Camp (EFC) のなかでどう活かしたいかや、どう成長したいかを検討します。

DAY
2

企業研究

企業の持ち味を分析するにあたって、ビジネスフレームについて学びます。担当する訪問先企業について、フレームワーク(3C分析・BP・カスタマージャーニー・ペルソナなど)を通じて、多角的に理解を深めていきます。

DAY
3

オリエンテーション

担当企業に訪問し、オリエンテーションを受けます。学生側からも DAY1・DAY2での取り組み内容を共有。それに対してフィードバックをいただきながら、学生・企業の相互理解を深め、パートナーシップを高めます。

DAY
4

ビジネスプロセス体験

原料から製造、物流、販売、そして商品が顧客の手元に届くまで、一連のビジネスプロセスを見聞きすることで、企業の持ち味をさらに深く分析。インタビューで質疑応答しながら、商品の企画イメージを膨らませていきます。

DAY
5

プレゼンテーション1.0

DAY4までの学びを活かして、1回目の商品企画のプレゼンを行います。そして、企業からフィードバックをいただくことで、実務で不可欠なビジネス視点を磨きます。

DAY
6

プレゼンテーション2.0

DAY5で企業からもらったフィードバックをもとに、内容をブラッシュアップ。商品の企画がかたまれば、次は試作品をつくります。

DAY
7

テストマーケティング

試作品を実験的に販売し、反応を伺うなかで商品化に向けた情報を集めていきます。商品化が決まったら、実際にパッケージなどを検討し、販売に向けて進めていくことになります。

DAY
8

テストマーケティング結果報告

テスト販売の結果・分析を、企業と振り返ります。実際の商品化の有無が決まる運命の日です。

DAY
9

経験学習レビュープログラム

企業からのフィードバックを参考に、学内でこれまでの取り組みを通じた自身の成長や課題を振り返ります。自分の持ち味をさらに磨くために必要なことや、自己PRが書けるようになるプログラムです。

今回はこちら

DAY
10

ファイナルプレゼンテーション (成果報告会)

合同で各自のこれまでの成果を発表。社会に向けても発信していきます!

参画企業 一覧

愛翔・朝日共販・一六本舗・エフエム愛媛・大阪屋・オカベ・キョクヨーフーズ・クックチャム四国・笹源・志賀商店・四国乳業・シンツ・中温・日東物産・ハタダ・秀長水産・ピーコックフーズ・南商事 (50音順・敬称略)

ファイナルプレゼンテーション開催

開催日: 2021年12月4日(土) 13:00-15:00 (予定)

プログラム 愛媛 Food Campのこれまで・代表チームによる成果報告

実施手法 Zoom ご参加お申込みいただいた方へ URL等をお送りします。

お申込み方法

企業・
団体の方は
こちらから ▶▶



高校生・保護者・
高校関係者の方は
こちらから ▶▶



お申込み締切: 2021年12月1日(水)





愛媛Food Campとは？



「愛媛県の地方創生を食品業界がリードする」を合言葉に株式会社リクルートと開発した、産学連携による**実践型インターンシッププログラム**です。学生はプログラムを通じて、愛媛県内の**食品関連企業の仕事を上流から下流まで**、大学の教室では学ぶことができない「**実践的な応用力**」を修得できます。

①業務体験、②企業担当者との打合せ、③市場調査など、企業における製品開発のプロセスを体験するにとどまらず、**学生は実際に販売する製品の企画を提案**します。もし、企画が認められれば、**製品化**まで進みます。学生は、食品業界のしくみや県内企業の取り組みを情報収集しながら、自らの「学ぶ」と「働く」をつなげることができます。



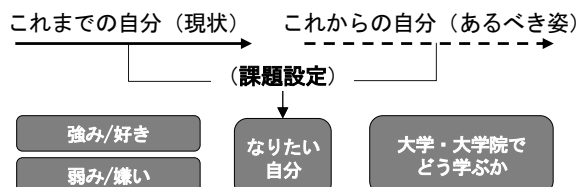
まずは、自己分析と企業研究から

愛媛Food Camp 第1日程

自己分析

愛媛Food Campは、まず、自分が**どのような性格の人間であるかを自己把握することから始まります。**

まずは、自分自身を知ることから始めます。自分の強みと弱みを把握し、自分の強みを生かすには何が向いているのか、また、自分の弱みを克服するには、何に取り組むべきかを自問自答し、これからのあるべき自分の姿を目指して、課題設定します。



愛媛Food Camp 第2日程

企業研究

派遣先企業は、**どのような企業であるか、その企業の強み、競合する相手どこかなど、企業研究**します。

次に、派遣先企業を知ります。企業の主力製品を知り、その主な顧客の性別、年齢、家族構成など、多角的に分析し、さらに競合する企業や製品には**どのようなものがあるか分析**します。この取組により、**企業理解が進むとともに、どの様な製品を開発すればいいのかを**考えます。

企業の強みを知る
(企業理解)

強みを生み出す
仕事を知る
(仕事理解)

企業のお客さまを知る
(マーケティング)

3C分析

BP

カスタマージャーニー
ペルソナ



2021年度愛媛Food Camp 成果報告会次第（予定）

13:00 開会

13:00 農学研究科長挨拶

愛媛大学大学院農学研究科長 山内 聡

13:10 愛媛Food Camp 概要説明

13:25 合同企画者紹介

13:35 学生発表（9チーム）

15:20 愛媛Food Campロゴマークの公表、記念品贈呈

15:25 講評

愛媛大学農学部生命機能学科長 関藤孝之

15:30 閉会



2021年度愛媛Food Camp 試作品例

